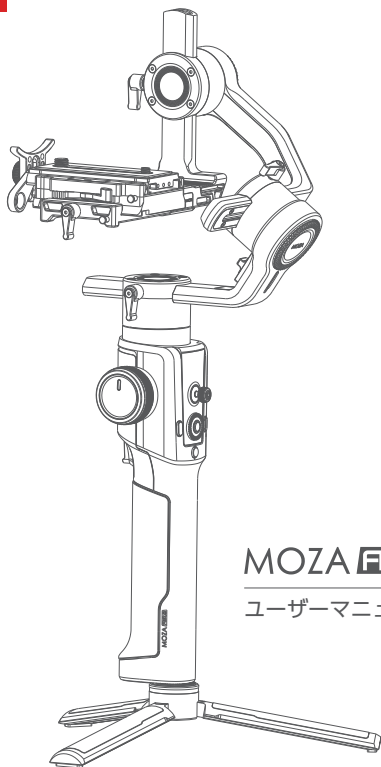




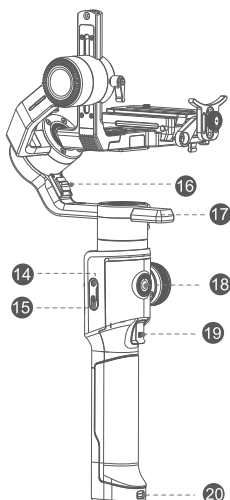
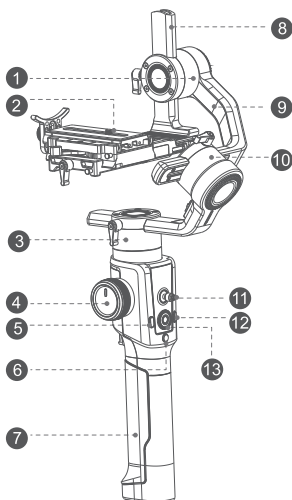
MOZA **AIR2**

ユーザーマニュアル

内容

■ MOZA Air 2概要	1
■ Air 2のインストール	2
• 三脚の取付	2
• バッテリーのインストール	2
• カメラのマウント	3
• カメラの制御ケーブルの接続	4
• サポートロッドのインストール	4
• ライザープレート取り付け	5
■ バランス調整	6
• ロール軸のロック	6
• カメラのバランス調整	6
• チルト軸のバランス調整	6
• ロール軸のバランス調整	7
• パン軸のバランス調整	7
■ ジンバルの操作方法	8
• ボタンとOLEDディスプレイ	8
• 電源オン/オフスリープモードウェイクアップ	8
• カメラ設定と制御	9
• スマートホイールの動作モード	11
• 中心合わせ、セルフイー撮影、その他	12
• インセプションモードと自動調整	13
■ メニューの説明	13
■ ヒント	16
• 動作モード	16
• ジャイロスコープの較正	17
• 加速度計の較正	17
• バランス試験	18
• オフセット	18
• ファームウェアのアップグレード	19
■ スペック	20

MOZA AIR 2概要

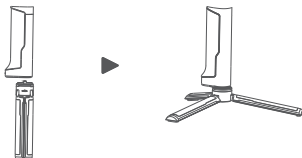


- | | | | |
|---------------------------|------------|----------------------------|-------------------|
| ① チルトモーター | ⑥ 電源ボタン | ⑪ ジョイスティック | ⑬ ロールモーターのロック |
| ② 機械式メモリー
クイックリリースシステム | ⑦ バッテリーハッチ | ⑫ Fnボタン | ⑭ パンアーム |
| ③ パンモーター | ⑧ チルトアーム | ⑬ ダイヤル | ⑮ 3/8 延長ポート |
| ④ ホイール | ⑨ ロールアーム | ⑭ DC 入力ポート | ⑯ スマートトリガー |
| ⑤ Mボタン | ⑩ ロールモーター | ⑮ 調整/ファームウェア
アップグレードポート | ⑰ バッテリーハッチ
ロック |

AIR 2のインストール

三脚の取付

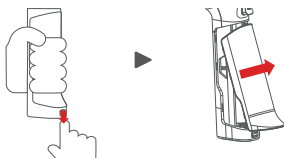
グリップの下端に2つのネジ穴が開けられています：1/4"：小型三脚用、3/8"：スライダーや大型三脚などの大きなアクセサリ用です。小型三脚をねじ込み、以下に示される要領で広げます。



バッテリーのインストール

⚠ 注意：ショートを起こさないよう、バッテリーの極性に注意してください。

- a. バッテリーハッチをわずかに押さえ、ロックを下方へ押し込みます。以下に示される要領でハッチをスライドさせ、ロックを解除します。



- b. 図に示される要領でバッテリーを一つずつ挿入します。

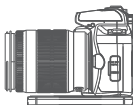


- c. バッテリーハッチを閉じます。

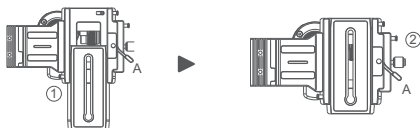


カメラのマウント

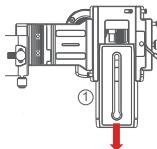
Air 2クイックリリースプレートには2本のネジが付属しています。カメラの種類に応じて、適切なネジを選んでください。クイックリリースプレートはどの方向にも取り付けられます。カメラへ取り付ける際、レンズとロッドアダプターを支える空間を確保するために、レンズがクイックリリースよりわずかに突き出るようにしてください。



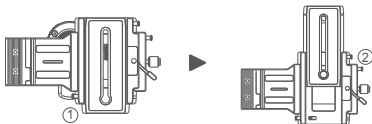
- カメラをクイックリリースプレートへ取り付けした後、レバーAを緩め、続いてクイックリリースプレートをベースプレートの上へスライドさせます。クイックリリースプレートは前後どちらからでもインストールできます。
- 安全ロック1と2がそれぞれ1回排出され、前後の大まかなバランスが保たれるようにしてください。



- 安全ロック1を押すと、クイックリリースプレートは以下に示される方向で取り外されます。



- 安全ロック1を押して、プレートを以下に示される要領でスライドさせます。プレートが終端まで移動した際にロック2を押します。クイックリリースプレートは逆方向に取り外されます。



▲ 注意：最高の効果を得るために、レンズのサポートを使用することを推奨します。

カメラの制御ケーブルの接続

ツールボックスには4種類のケーブルが収納されています

- a. M3C-Miniケーブル： Canon 5D3など、 Miniポートを備えるカメラ用
 - a. M3C-Microケーブル： Canon 5D4など、 Microポートを備えるカメラ用
 - c. MCSC-リモートケーブル： GH3yやGH4など、 2.5mmポートを備えるPanasonic製カメラ用
 - d. MCSC-Multiケーブル： A7s IIやA7 IIIなど、 Multiポートを備えるSony製カメラ用
 - e. MCSC-Multi/Cケーブル： A7s IIやA7 IIIなど、 MultiポートとUSB電源を備えたSony製カメラ用
- 制御ケーブルをAir 2ジンバルのCAM CTRLへ接続します。続いてもう一端をカメラの制御ポートへ接続します。カメラのアイコンがOLED 画面に表示されます。これで、調整、録画、写真撮影、フォーカス追跡のパラメーターをジンバル上で直接調整できるようになります。

⚠ 注意：

1. 様々なカメラやレンズの詳細については、9ページを参照してください。
2. USB制御機能がサポートされていない場合は、カメラの機種を手動で選択してください。

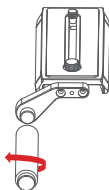


x10

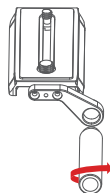
サポートロッドのインストール

フォーカス追跡を使用する前にロッドをインストールしてください。

アダプター、M3ネジx10、アレンレンチをまず取り出してください。M3ネジx10を使用してアダプターをクイックリリースプレートの前または後ろへ固定し、続いてサポートロッドをアダプターへねじ込みます。



左側へインストールする場合、ロッドアダプターのスタッドとサポートロッドのネジ穴の位置を合わせ、続いてサポートロッドを反時計回りに回して締め付けてください。



右側へインストールする場合、ロッドアダプターのネジ穴とサポートロッドのスタッドの位置を合わせ、続いてサポートロッドを時計回りに回して締め付けてください。

⚠ 注意：サポートロッドとロッドアダプターが外れて落下しないよう、上に示される位置へインストールしてください。

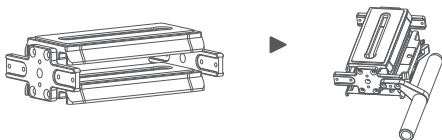
ライザープレートの取り付け

ライザープレートは以下の場合に使用する必要があります：

- a. カメラがチルト軸のバランスをとるには短すぎる場合
- b. フォーカス追跡をインストールするにはレンズが短すぎる場合
- c. ズームするためにフォーカス追跡をインストールしなければならない場合

⚠ 注意：ライザープレートを取り付ける前にロッドアダプターがインストールされている場合、まずアダプターを取り外してください。

クイックリリースプレートの両端にネジ穴へライザープレートを固定し、続いて他のクイックリリースプレートを同じ方法でライザープレートへ固定します。



ロッドアダプターをインストールするためのネジ穴もライザープレートに開けられています。

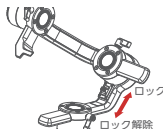
バランス調整

▲注意：手軽に調整したい場合は、18ページに記載されたAir 2のバランス確認機能を参照してください。

ロール軸のロック

ロールのモーターロックを端まで移動させます。ロールアームを以下に示される位置まで回転させると、ロールアームは自動的にロックされます。

▲注意：ロールアームがパンアームに重なる位置でロックされる場合、まずロールモーターのロックを解除してください。



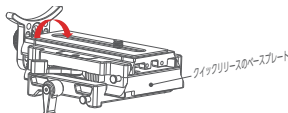
カメラのバランス調整

カメラをAir 2へ取り付けます。手を離して、カメラが上方または下方に重心が寄り過ぎていないか確かめてください。

カメラの重心が下方に寄っている場合、ノブを緩めて、レンズが前方を向くまでクイックリリースベースプレートを前方へスライドさせてください。

カメラの重心が上方に寄っている場合、ノブを緩めて、レンズが前方を向くまでクイックリリースベースプレートを後方へスライドさせてください。

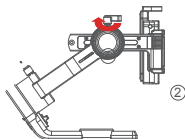
ノブを締め付けます。



チルト軸のバランス調整

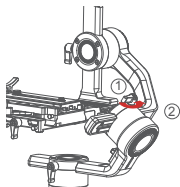
レンズが上方を向くまでカメラを回転させます。手を離し、カメラがどちらの方向へ傾くか確かめます。チルトモーターのノブ1を緩めて、カメラが上方または下方へ傾かず安定するまでチルトアーム2をスライドさせます。

ノブ1を締め付けます。



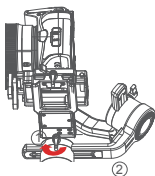
ロール軸のバランス調整

- ロールモーターのロックスイッチをロック解除側へ切り替えます。
- 手を離して、ロール軸がどの方向へ揺れるか確かめます。
- ロール軸ノブ1を緩め、ロールアーム2が固定されるまでロールアーム2をスライドさせます。
- ノブ1を締め付けます。



パン軸のバランス調整

- Air 2をとらえ、パンアームを水平に保ちます。手を離して、カメラがどの方向へ揺れるか確かめます。
- パンモーターのノブを緩めます。パンアーム2が水平になるまで、左右へ動かします。
- ノブ1を締め付けます。



⚠ 注意：パン軸のバランスが適切に調整されていない場合、パン軸が過熱し、インセプションモードが正しく使用できない可能性があります。

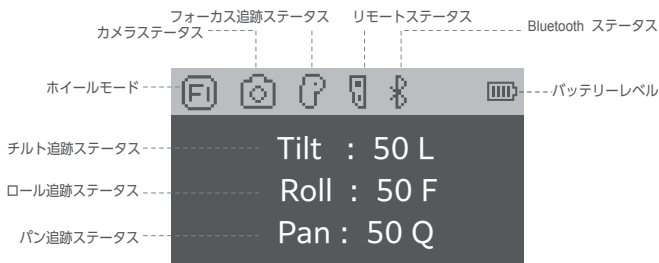
ボタンとOLEDディスプレイ

ボタン機能：

状態	押す	電源ボタン	Fnボタン	スマートトリガー	Mボタン	ホイール	制御
メインインターフェース	1x	録画を開始/停止	スポーツギアモード	フォーカス	ホイールモードを切り替え 開始/終了 (チルト追跡)	ジョイスティックが 選択した 機能を	パンの追跡を開始/終了
	2x	写真	インセプションモード	中心合わせ	開始/終了 (パン追跡)		ロール追跡を開始/終了
	3x	—	—	セルフイー	開始/終了 (パン追跡)	Mボタン	チルト追跡を開始/終了
	3s	オン/オフ	自動調整	—	開始/終了 (ロール追跡)		—
	長押し	—	—	完全ロック	—		—

状態	押す	ダイヤル上ボタン	下ボタン	左ボタン	右ボタン	メニューボタン	ダイヤル
メインインターフェース	1x	TV調整を開始/終了	AV調整を開始/終了	ISO調整を開始/終了	プレビューを開始/終了	メニューを開始	追跡速度
	3x	—	—	—	—	言語	—
	3秒間 押す	—	—	—	—	スリープ/ ウェイクアップ	—
カメラ設定	1x	TV調整を開始/終了	AV調整を開始/終了	ISO調整を開始/終了	プレビューを開始/終了	メニューを開始	カメラのパラメーターを設定
メインインターフェース	1x	オプション-上	オプション-下	前へ戻る	次/開始/選択	メニューを終了	切り替え/調整
電源オフ	アップグレードモード	中央ボタン + 電源ボタン					

OLEDアイコンの紹介：



追跡ステータスの注意：

番号：追跡速度 L：ロック F：追跡 Q：スポーツギアモード

⚠ 注意： デバイスのアイコンはジンバルに接続されない限り表示されません。

電源オン / オフスリープモードウェイクアップ

電源ボタンを3秒間長押しすると、画面にメインインターフェースのステータスが表示されて電源がオンになります。再度3秒間長押しすると、電源オフになります。

⚠ 注意：メインインターフェースが画面に表示されるまで電源ボタンを離さないでください。さもなければAir 2は正しく動作しない可能性があります。

電源オンの状態でメニューボタンを3秒間長押しすると、スリープモードに入ります。モーターは動作を停止しますが、OLED画面はステータスを表示し続けます。ボタンを再度3秒間長押しすると、Air 2がウェイクアップします。

カメラ設定と制御

⚠ 注意：カメラ制御ケーブルを用いてジンバルとカメラをまず接続するため、4ページを参照してください。MOZA Air 2はUSB制御機能を搭載したカメラのパラメーター調整と自動認識に対応しています。Panasonic GH3/GH4/GH5など、USB制御に対応していないカメラに関しては、手動でカメラ機種を選択してください。

Air 2カメラ互換リスト：

⚠ 注意：Air 2が対応するカメラの種類と機能は、継続して更新されます。最新情報に関しては、技術サポートへお問い合わせください。
(カメラにType-C USBポートが備わっている場合、Micro - Type-Cアダプターを別途お買い求めいただく必要があります。)

MOZA Air 2カメラ互換リスト										
Air 2ファームウェアバージョン：V.4.13										
ブランド	機種	ケーブル	AV	TV	LV	ISO	フォーカス	シャッター	録画	電源
Canon	1DX	M3C-Mini	OK	OK	OK	OK	OK	OK	OK	
	5D2	M3C-Mini	OK	OK	OK	OK	OK	OK	OK	
	5D3	M3C-Mini	OK	OK	OK	OK	OK	OK	OK	
	5D4	M3C-Micro	OK	OK	OK	OK	OK	OK	OK	
	6D2	M3C-Mini	OK	OK	OK	OK	OK	OK	OK	
	77D	M3C-Mini	OK	OK	OK	OK	OK	OK	OK	
Sony	RX10 II	M3C-Micro	OK	OK		OK		NOK	OK	OK
		MCSC-Multi/C	NOK			NOK		OK	OK	OK
		MCSC-Multi	NOK			NOK		OK	OK	
	RX10 III	M3C-Micro	OK	OK		OK		NOK	OK	OK
		MCSC-Multi/C	NOK			NOK		OK	OK	OK
		MCSC-Multi	NOK			NOK		OK	OK	

MOZA Air 2カメラ互換リスト										
Air 2ファームウェアバージョン：V.4.13										
ブランド	機種	ケーブル	AV	TV	LV	ISO	フォーカス	シャッター	録画	電源
Sony	RX100M4	M3C-Micro	OK	OK	NOK	OK	NOK	NOK	OK	OK
		MCSC-Multi/C	NOK			NOK		OK	OK	OK
		MCSC-Multi	NOK			NOK		OK	OK	
	A5100	M3C-Micro	OK	OK		OK		NOK	OK	OK
		MCSC-Multi/C	NOK			NOK		OK	OK	OK
		MCSC-Multi	NOK			NOK		OK	OK	
	A6300	M3C-Micro	OK	OK		OK		NOK	OK	OK
		MCSC-Multi/C	NOK			NOK		OK	OK	OK
		MCSC-Multi				NOK		OK	OK	
	A6500	M3C-Micro	OK	OK		OK		NOK	OK	OK
		MCSC-Multi/C	NOK			NOK		OK	OK	OK
		MCSC-Multi	NOK			NOK		OK	OK	
	A7S	M3C-Micro	OK	OK		OK		NOK	OK	
		MCSC-Multi	NOK			NOK		OK	OK	
	A7S II	M3C-Micro	OK	OK		OK		NOK	OK	OK
		MCSC-Multi/C	NOK			NOK		OK	OK	OK
		MCSC-Multi	NOK			NOK		OK	OK	
	A7R	M3C-Micro	OK	OK		OK		NOK	OK	
		MCSC-Multi	NOK			NOK		OK	OK	
	A7R II	M3C-Micro	OK	OK		OK		NOK	OK	OK
		MCSC-Multi/C	NOK			NOK		OK	OK	OK
		MCSC-Multi	NOK			NOK		OK	OK	
	A7 II	M3C-Micro	OK	OK		OK		NOK	OK	OK
		MCSC-Multi/C	NOK			NOK		OK	OK	OK
		MCSC-Multi	NOK			NOK		OK	OK	
	A7 III	M10C-Micro	OK	OK		OK		NOK	OK	OK
		MCSC-Multi/C	NOK			NOK		OK	OK	OK
		MCSC-Multi	NOK			NOK		OK	OK	
Nikon	D800	M3C-Micro	OK	OK	OK	OK	OK	OK	OK	
	D850	M3C-Micro	OK	OK	OK	OK	OK	OK	OK	
	Z6	M3C-Micro+Micro - Type-Cアダプター	OK	OK	OK	OK	OK	OK	OK	
	Z7	M3C-Micro+Micro - Type-Cアダプター	OK	OK	OK	OK	OK	OK	OK	
Panasonic	GH3	MCSC-リモート	NOK					OK	OK	
	GH4	MCSC-リモート						OK	OK	
	GH5	MCSC-リモート						OK	OK	
注意：										

- 開始/停止：電源ボタンを一回押す
- 写真撮影：電源ボタンを二回押す
- シャッター調整：ダイヤルの上ボタン（TV）を押す
- 口径調整：ダイヤルの下ボタン（AV）を押す
- ISO 調整：ダイヤルの左ボタン（ISO）を押す

カメラのパラメーターを調整する場合、該当するボタンを押すと画面に値が表示されます。続いてダイヤルを回して値を調整します。調整が完了した後、該当するボタンを再度押すとカメラのパラメーター調整がオフになります。



- プレビューのオン/オフ：ダイヤルの右ボタンを押すとライブプレビューがオンオフされます。

⚠ 注意：パラメーター調整のダイヤルはカメラ設定を開始しないと回せません。デフォルト状態では、ダイヤルを回すと追跡速度を調整できます。追跡モードの詳細情報は12ページを参照してください。Sony A7S2など、一部のセンサー付きカメラは、ビューファインダー前に障害物が存在する場合に画面をシャットダウンしてプレビュー用にビューファインダーに切り替わります。画面のプレビュー設定

スマートホイールの動作モード

Air 2のスマートホイールは4つの動作モードを持ちます。Mボタンを押してモードを切り替えます。スマートホイールモードのアイコンは以下の要領で変化します：

- [F1]** フォーカスチャンネル1、フォーカス追跡制御
- [F2]** フォーカスチャンネル2、フォーカス追跡制御
- [FE]** 電子フォーカスチャンネルカメラとレンズが電子フォーカス追跡に対応する場合は、このチャンネルを使用して電子フォーカス機能を制御できます。
- [R]** ロール軸制御Air 2のロール軸を制御します

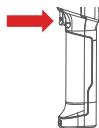
⚠ 注意

- 1つのフォーカス追跡にのみ接続している場合、F1とF2チャンネルのどちらもフォーカス追跡を制御できます。2つのフォーカス追跡に接続している場合、2つのチャンネルはそれぞれ個別にフォーカス追跡を制御します。
- 電子フォーカス機能を使用する場合は、カメラのサポート機能一覧を参照してください。

スマートトリガーを使用して中心に合わせたり、セルフィーを撮影したりできます。

Air 2スマートトリガーは、Air 2の動きを素早く制御するために以下の3つの操作を備えています。

- 二回押す：中心に合わせます。ジンバルが素早く開始地点へ戻ります
- 三回押す：セルフィーを撮影します。Air 2はユーザーヘレンズを向けます
- 長押し：全ロックモードへ入ります。ボタンを離すと、ジンバルはデフォルトの追跡モードへ戻ります。



▲ 注意：中心に合わせてセルフィーを撮影する場合、ハンドグリップを回転させると最終位置がずれることにご注意ください。

追跡モードの切り替え

Air 2の各軸は追跡機能を備えており、それらは個別に制御できます。

番号	チルト	ロール	パン	注意
1	ロック	ロック	ロック	完全ロック
2	ロック	ロック	追跡	パン追跡
3	ロック	追跡	ロック	ロール追跡 (FPV)
4	ロック	追跡	追跡	パン - ロール追跡
5	追跡	ロック	ロック	チルト追跡
6	追跡	ロック	追跡	パン - チルト追跡
7	追跡	追跡	ロック	ロール - チルト追跡
8	追跡	追跡	追跡	全て追跡

- パンモーターの追跡をオン/オフ：ジョイスティックボタンを押します
- ロールモーターの追跡をオン/オフ：ジョイスティックボタンを二回押します
- チルトモーターの追跡をオン/オフ：ジョイスティックボタンを三回押します

各軸の追跡速度を調整：デフォルトステータスにてダイヤルを回すと画面に表示される軸の追跡速度の値が変化します。

素早く完全ロック：スマートトリガーを長押しすると、各軸の追跡モードは「L」（ロックモード）に変化します。スマートトリガーを離すと、ジンバルは元のモードへ戻ります。

スポーツギアモード：Fnキーを押すと、パンモーターはスポーツギアモードへ切り替わります。

「Pan」の後の文字が「Q」となり、他の軸は変化しません。Fnキーを再度押すとモードを終了します。パンモーターは元の追跡モードへ戻ります。

Fnボタンを使用してインセプションモードへ入り自動調整を行います

Fnボタンは各種の専用機能へ素早くアクセスできる特殊機能のボタンです。

- 一回押す：スポーツギアモードをオンオフします。このモードでは、パンモーターがより高速に動作します。
- 二回押す：インセプションモードを開始/終了します。インセプションモードを使用する際、ハンドルを対象へ向け、続いてジョイスティックを左右へ回して360°回転画像を撮影できます。インセプションモードの速度は調整可能です。
16ページを参照してください。
- 長押しする：パラメーターを自動調整します。この場合、Air 2は三脚へ取り付け、水平で安定した表面に配置してください。Air 2は軸負荷を一つずつ確認し、モーターの電力を自動調整して最適な状態に保ちます。

メニューの説明

マークの説明と操作方法

- 選択したアイテムの右側に「>」マークが存在する場合、ダイヤル右ボタンを押すと次のメニューに入ります。
- 選択したアイテムに「[]」が表示され数字が示されている場合、ダイヤルを回すと値が変化します。
- 選択したアイテムに「()」が表示されオプションが示されている場合、右ボタンを押すとオプションが変化します。

▲ 注意：

1. アイテムの右側に「*」が表示されている場合、現行の一覧は最終版です。
上下ボタンを押してアイテムを選択し、続いて右ボタンを押して「*」を選択したアイテムへ移動させ、起動します。
2. 選択したアイテムやメニュー一覧上の他のアイテムにマークが表示されていない場合、右ダイヤルボタンを押してオプションを開始できます。「？」が処理中に表示されます。処理が完了すると「OK」が表示され、オプションが失敗すると「ERR」が表示されます。

L1	L2	L3	L4	L5	Note
Camera Set>	Select>	Shutter cable	---		シャッター制御
		Canon-USB	---		Canon USB制御
		Sony-Multi	---		Sony Multi制御
		Sony-USB	---		Sony USB制御
		Panas-2.5mm	---		Panasonicリモート制御
		Panas-USB	---		Panasonic USB制御
		Nikon-USB	---		Nikon USB制御
		Fuji-USB	---		Fuji USB制御
		BMD-LANC	---		BMDリモート制御
	Parameter>	Aperture[]	---		口径調整
		Shutter[]	---		シャッター調整
		ISO[]	---		ISO調整
		EV[]	---		露出補正調整
Gimbal Set>	Motor>	Switch()	---		モーターオン/オフ
		Power>	Autotune	---	自動調整開始
			Level>	Ultra light	モーターのパラメーターを超軽量級へ設定
				Light	モーターのパラメーターを軽量級へ設定
				Medium	モーターのパラメーターを中量級へ設定
				Heavy	モーターのパラメーターを重量級へ設定
				Ultra heavy	モーターのパラメーターを超重量級へ設定
		Custom>	Tilt[]		チルトモーターの電力を設定
			Roll[]		ロールモーターの電力を設定
			Pan[]		パンモーターの電力を設定
		Filter	Tilt[]		チルトモーターの取付パラメーターを設定
			Roll[]		ロールモーターの取付パラメーターを設定
			Pan[]		パンモーターの取付パラメーターを設定
		Follow>	Switch>	Tilt()	チルトモーターの追跡をオン/オフ
				Roll()	ロールモーターの追跡をオン/オフ
				Pan()	パンモーターの追跡をオン/オフ
			Speed>	Tilt[]	チルトモーターの追跡速度を設定
				Roll[]	ロールモーターの追跡速度を設定
				Pan[]	パンモーターの追跡速度を設定
			Dead angle>	Tilt[]	チルトモーターの死角を設定
				Roll[]	ロールモーターの死角を設定
				Pan[]	パンモーターの死角を設定
		Manual pos>	Tilt()	---	チルトモーターの手動位置合わせをオン
			Roll()	---	ロールモーターの手動位置合わせをオン
			Pan()	---	パンモーターの手動位置合わせをオン

L1	L2	L3	L4	L5	Note
Gimbal Set>	Operations>	Joystick> (Set functions of the joystick)	Function>	Left-Right ()	左右の機能を設定
				Up-Down ()	上下の機能を設定
			Sensitivity>	Left-Right ()	左右の感度を設定
				Up-Down ()	上下の感度を設定
			Habits> (Set the directions)	Left-Right ()	+ : 前進 ; - : 後退
				Up-Down ()	+ : 前進 ; - : 後退
		Wheel> (Set functions of the smartwheel)	Function>	Focus-1	フォーカス追跡1を制御
				Focus-2	フォーカス追跡2を制御
				Focus-E	電子フォーカス追跡を制御
				Roll	ロール軸を制御
			Sensi[]	---	スマートホイールの感度を設定
			Habits()	---	+ : 前進 ; - : 後退
		Trigger>	Hold> (Press and hold the smart trigger)	None	未設定ボタン
				All lock	開始 : 完全ロックモード
				Quick follow	開始 : スポーツギアモード
				FPV	開始 : FPVモード
				+ P&Y follow	チルトとパンのフォローを開始
				+ P follow	オン (チルト追跡)
				+ R follow	オン (ロール追跡)
				+ Y follow	オン (パン追跡)
			Once> (Single Press the Smart Trigger)	None	未設定ボタン
				Re-center	中心合わせ
				selfie	セルフイー撮影
				Shutter	写真撮影
				Focus	---
			Twice> (Double Press the Smart Trigger)	None	未設定ボタン
				Re-center	中心合わせ
				selfie	セルフイー撮影
			Triple >	None	未設定ボタン
				Re-center	中心合わせ
				selfie	セルフイー撮影
		Dial	Habits()	---	方向を設定 (+: 前進 ; -: 後退)
	Calibration>	Offset>	Tilt[]	---	チルト軸のオフセット
			Roll[]	---	ロール軸のオフセット
			Pan[]	---	パン軸のオフセット
		Balance chk>	back ----- front	---	カメラの前後位置のバランス試験結果
			down ----- up	---	チルト軸のバランス試験結果
			left ----- right	---	ロール軸のバランス試験結果
		Gyro	---	---	ジャイロスコープの校正
		Acc	---	---	加速度計の校正

L1	L2	L3	L4	L5	Note
Advanced>	iFocus Set>	Turn off	---		フォーカス追跡をオフ
		Turn on	---		フォーカス追跡をオン
		Set point A	---		フォーカス追跡の開始点を設定
		Set point B	---		フォーカス追跡の終了点を設定
	Inception>	Speed[]	---		インセプションモードの回転速度を設定
		Smooth[]	---		インセプションモードの滑らかさを設定
	AHRS coeff[]	---	---		属性パラメーターを設定
Configuration>	Config 1>	Save	---		構成1へ保存
		Load	---		構成1を読み込み
	Config 2>	Save	---		構成2へ保存
		Load	---		構成2を読み込み
	Config 3>	Save	---		構成3へ保存
		Load	---		構成3を読み込み
	Set default		---		デフォルト構成を復旧
Language	English		---		---
	Chinese		---		---
About>	---		---		ファームウェアバージョン

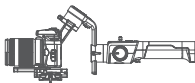
ヒント

動作モード

MOZA Air 2の動作モードは3種類存在します



垂直モード



フラッシュライトモード



吊り下げモード

⚠ 注意：ハンドグリップをロールモーターの周りでカメラ上で180度回してください。

校正とファームウェアのアップグレード

ジャイロスコープの校正

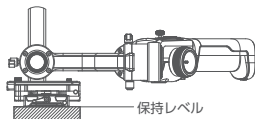
- 校正前にモーターをオフにしてください。メニューボタンを長押しするか、メニューにて motor > turn off (モーター>オフ)を選択すると、ジンバルがオフになります。
- Air 2を安定した机に置き、動かないようにします。
- メニューに入り、calibrate > Gyro cali(校正>ジャイロ校正)を選択して、右ダイヤルを押せばジンバルを校正できます。
- 約5秒間待つと、「?」が「OK」に変化します。これで校正は完了です。

Offset	>	Offset	>
Balance chk	>	Balance chk	>
Gyro	?	Gyro	OK
Acc		Acc	

⚠ 注意：ジャイロスコープの校正はジンバルがドリフト（ジョイスティックの入力なしにジンバルが自動的に動く）を起こす場合にのみ必要となります。校正後に「ERR」表示が出現すると、校正は失敗です。再度お試しください。

加速度計の校正

- 校正前にモーターをオフにしてください。メニューボタンを長押しするか、メニューにて motor > turn off (モーター>オフ)を選択すると、ジンバルがオフになります。
- ジンバルを水平に保ち、動かないようにします。



- メニューに入り、calibrate > Acc cali(校正>加速度計校正)を選択して、右ダイヤルを押せば校正できます。
- 約5秒間待つと、「?」が「OK」に変化します。これで校正は完了です。

Offset	>	Offset	>
Balance chk	>	Balance chk	>
Gyro		Gyro	
Acc	?	Acc	OK

⚠ 注意：加速度計の較正は、カメラが水平を保たない場合にのみ必要となります。緊急を要する撮影の場合、カメラのバランスを微調整して水平度を保たせることができます。詳細は18ページを参照してください。較正後に「ERR」表示が出現すると、較正は失敗です。再度お試しください。

バランス確認

Air 2は自身で各軸のバランス状態を確認し、ユーザーへ調整を促すことができます。

- 三脚をAir 2に取り付け、水平な面へ配置します。
- メニューにてcalibrate > Balance chk（較正>バランス確認）を選択すると、Air 2はバランス調整を開始します。

⚠ 注意：ジンバルはモーターがオフの場合はバランスを確認できません。画面に「ERR」が表示されます。メニューボタンを長押ししてジンバルをオンにし、再度お試しください。



back--*--front（後-前）：「*」が後に近い場合、カメラの位置が後方に寄っており、前方へ調整する必要があります。「*」が前に近い場合、カメラの位置が前方に寄っており、後方へ調整する必要があります。6ページを参照してください。

down--*--up（下-上）：「*」が下に近い場合、チルトアームの位置が低すぎるため、上方へ調整する必要があります。「*」が上に近い場合、チルトアームの位置が高すぎるため、下方へ調整する必要があります。7ページを参照してください。

left--*--right（左-右）：「*」が左に近い場合、ロールアームの位置が左に寄りすぎているため、右へ調整する必要があります。「*」が右に近い場合、ロールアームの位置が右に寄りすぎているため、左へ調整する必要があります。7ページを参照してください。

⚠ 注意：

- 試験結果が画面に表示された後、メニューボタンを長押ししてジンバルをオフにし、続いて各軸を調整した後メニューボタンを押してジンバルをウェイクアップします。
- この時点ではパン軸のバランスは確認できません。7ページの操作方法に従って調整してください。

オフセット

緊急を要する撮影の場合、カメラのオフセットを微調整して水平度を保たせることができます。

- ジンバルとカメラのレベルをオンにし、チルト軸とパン軸のオフセットを確認します。
- メニューに入り、calibrate > offset（校正>オフセット）を選択肢、水平でない軸を選びます。
続いてダイヤルを回して、カメラが完全に水平になるまで軸の値を調整します。

Offset	>		Tilt	[50]
Balance chk	>		Roll	[50]
Gyro		▶	Pan	[50]
Acc				

⚠ 注意：

- オフセット調整では約 $\pm 5^\circ$ の範囲でしか、各軸の角度を調整することはできません。
オフセットが大きすぎる場合、カメラを完全に水平に保つことはできなくなります。
- オフセット調整はあくまでも一時的な解決法にしかすぎません。撮影後、加速度計を校正することも必要です。
- 再起動するとオフセットのパラメーターは保存されず、無効となります。

ファームウェアのアップグレード

コンピューターを用いたアップグレード：

- ジンバルをオフにします。
- ジョイスティックを長押しします。続いてもう一方の手で電源ボタンを押し続け、画面に「Boot Mode」（起動モード）が出現するまで待ちます。
- USB Type-Cケーブルでジンバルをコンピューターへ接続します。
- ソフトウェアはデバイスを自動的に認識してファームウェアを読み込みます。
「Upgrade」（アップグレード）ボタンを押して約10秒間待ちます。
- アップグレードプロセスの最中、「upgrading」（アップグレード中）がジンバルの画面に表示されます。
アップグレードが完了すると、「upgrade success」（アップグレード完了）が画面に表示されます。
アップグレードが完了した後、USBケーブルを外してAir 2を再起動してください。

アプリを用いたアップグレード：

- ジンバルをオフにします。
- ジョイスティックを長押しします。続いてもう一方の手で電源ボタンを押し続け、画面に「Boot Mode」（起動モード）が出現するまで待ちます。
- アプリを起動し、Bluetoothを押してAir 2デバイスを検索し、接続します。
- アプリは自動的にファームウェアのアップグレードインターフェースに入ります。
ファームウェアのダウンロードが完了するまで待つてから、「upgrade」（アップグレード）ボタンを押して、約5分間待ちます。
- アップグレードプロセスの最中、「upgrading」（アップグレード中）がジンバルの画面に表示されます。
アップグレードが完了すると、「upgrade success」（アップグレード完了）が画面に表示されます。
この時点で、Air 2を再起動することができます。

仕様

Air 2	
荷重範囲	0.3kg~4.2kg
寸法	230*240*470 mm
チルトカメラのトレイ寸法	110 mm
ロールカメラのトレイ寸法	100 mm
パンの機械式終端範囲	360°
ロールの機械式終端範囲	360°
チルトの機械式終端範囲	+180°~-95°
バッテリー種類	INR18650D250
バッテリー容量	2500 mAh
動作電圧	15.2V
平均電流	150mA
通信	BLUETOOTH 4.0 BLE
	2.4G
	USB
カメラ制御ポート	Mini USB 5V 1A
ダミーバッテリーポート	DC2.0mm 7.8V 1A
アクセサリ電源ポート	DC5.5mm 12V 2A
外部電源ポート	DC5.5mm 14.8V 3A
温度	0~50℃



Follow us